

T様邸 芝生管理作業報告書



■作業日：9月26日（日）

■作業員：1名、4時間

■作業内容芝刈り

9月25日の殺菌剤散布は小範囲ですが、病変部分があり、秋雨など長期間の降雨期に赤サビ病などの大量発生防止のためです。

芝の草丈が伸びすぎ横に倒れて重なり合ったりしていました。日照不足や風通しが悪くなり、蒸れたり病気が発生する原因となります。また、茎に日光が当たらなかつたり地温が上がらないと、根の活動が弱くなりヒョロヒョロと上へ伸びようとするので「ランナー」と呼ばれる匍匐茎が伸びないので、いつまでも芝生の密度が増しませんし、芝生の密度が薄くなると雑草がはびこってたちまち芝生が荒廃します。



▲9月19日（日）の現状

南側のアパートの日陰になる部分は芝茎も細いし、密度も低いようです。元気な芝茎になるように、積極的なケアが必要なようです。

今回の芝刈りは若干時期は早めですが、シーズン最後の芝刈り、芝止めも兼ねています。年内はあまり成長する事も無く休眠期を迎えます。厳寒時に芝茎が痛まないように高めに刈っています。休眠期の冬枯れ期に雑草を取り除いてください。

来年の芝生管理の作業としては、3月から4月にサッチ（枯れた葉など）が固まって透水性や通気性を悪くするので熊手などで除去します。状況に応じてエアレーションや目土入れを行います。現在低い部分や匍匐茎が露出している箇所は目土入れの必要があります。

芝生の新芽が伸びて7センチくらいに伸びたら半分くらいの高さに刈り、芝刈りを繰り返しながら徐々に低くして、最終的には芝張り時の芝苗の高さまで刈り込めるといいでしょう。

芝床の土壌は今のところ、排水や通気性は十分ですが、畑のように耕す事が出来ませんので、手入れを怠ると急激に衰えてきます。

芝刈り、施肥や灌水など状況に応じた管理で「緑のじゅうたん」にしてください。

■ 9月30日（木）現在 写真下2枚



長く雨が続いた時には確認にお伺い致します。

【年内作業予定】

□ 芝刈り

11月頃に休眠期に入りますので、年内の芝刈りは必要ありません。

□ 施肥・灌水

生育が穏やかになってきますので、水やり、施肥とも必要ありません。

□ 除草

芝生の冬枯れ時は雑草と芝生の区別がわかり易いので、翌年に持ち越さないように 早めに抜き取っておきます。

※サッチング、エアレーション、目土入れ、除草など芝生維持に必要な作業がありますのでお気軽にご相談下さい。